

II-A-18

牛車腎気丸の乏精子症に対する効果

¹秋田組合総合病院産婦人科、²秋田大学医学部産婦人科

○太田博孝¹、福島峰子²

目的 牛車腎気丸は種々の老人性疾患や糖尿病合併症などに頻用される漢方薬で、八味地黄丸とよく似た生薬構成を示す。今回、牛車腎気丸を乏精子症例に投与し、その薬理効果、特に内分泌機能への影響と精液所見に及ぼす効果を検討した。

方法 対象は不妊を主訴とする乏精子症患者24例で、牛車腎気丸（ツムラ）1日7.5gを分3で、12週間投与した。4週毎に当科外来を受診させ、精液検査と血中LH、FSH、prolactin (PRL)、testosterone (T)、estradiol (E₂)を測定し、その経日的変化を比較検討した。各症例は夫婦で治療を受けているため、精液は単層パーコール法により濃縮し、その前後で精子濃度、精子運動率を測定することが多かった。精液所見から症例は有効群（Ⅱ群：n=16）と無効群（Ⅲ群：n=8）に分けられ、対照群（Ⅰ群：n=12）と比較検討された。

結果 血中TはⅠ群で 6.8 ± 1.8 ng/mlで、Ⅱ、Ⅲ群ではその78.71%と有意($P < 0.01$)に低かった。血中E₂はⅠ、Ⅱ、Ⅲ群で 24.6 ± 8.8 、 40.6 ± 15.4 、 36.7 ± 15.9 pg/mlで、Ⅱ群で有意に高く、従ってT/E₂比はⅡ、Ⅲ群で共にⅠ群より有意に低値を示した。しかし、本剤服用期間中いずれの値にも大きな変動はなかった。一方、血中LH、FSH、PRL値は各群間で差はなかった。精液所見に対して牛車腎気丸は精子濃度を服用4週目より増加させ、8週目には前値の264%となり、12週目まで持続した。さらにPercooll法による精子濃縮率も高まった。しかし長期服用すると、精子濃度やPercoll法に対する精子濃縮率は再び低下した。一方、精子運動率に対する効果はあまり認められなかった。本剤服用期間中5例に妊娠が成立した。

考察 牛車腎気丸は10種の生薬から構成され、その主な薬理作用には利尿作用（水電解質代謝）、脂質分解阻害作用、蛋白合成促進作用などがある。本剤にはあまりホルモン様作用を示す生薬はみられず、わずかにサンヤクに男性ホルモン増強作用があるのみである。本剤は従来より八味地黄丸の作用を増強させる場合に用いられるきた。我々の成績では八味地黄丸投与による精子濃度の平均増加率は166%であった。牛車腎気丸でこの精子濃度増加作用がさらに増強されたことは両剤の使用目標を考え合わせると極めて興味深い。

結論 牛車腎気丸は乏精子症に極めて有効で、特に精子濃度を著しく改善させることを初めて明らかにした。